



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 三和油化工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4125 URL <https://www.sanwayuka.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)柳 均
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員経営管理部長 (氏名)熊崎 聡 (TEL) 0566-35-3021
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	20,263	26.3	1,543	84.6	1,701	89.6	1,071	81.2
2025年3月期	16,040	2.6	836	△34.7	897	△34.0	591	△43.2

(注) 包括利益 2026年3月期 1,149百万円(156.0%) 2025年3月期 449百万円(△62.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	248.16	—	8.4	7.3	7.6
2025年3月期	136.98	—	4.9	4.3	5.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	26,024	13,480	51.2	3,086.03
2025年3月期	20,636	12,513	59.7	2,854.65

(参考) 自己資本 2026年3月期 13,332百万円 2025年3月期 12,326百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,944	△3,759	1,461	2,159
2025年3月期	1,671	△2,495	△293	1,626

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00	185	31.4	1.5
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	216	20.1	1.6
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		—	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,650	40.6	800	62.5	760	29.6	520	38.2	120.36
通期	23,500	16.0	1,700	10.1	1,620	△4.8	1,100	2.6	254.61

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)エー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社、除外 -社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	4,320,420株	2025年3月期	4,318,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	106株	2025年3月期	106株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	4,319,597株	2025年3月期	4,317,897株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	13,884	3.8	406	28.9	823	40.1	645	48.3
2025年3月期	13,372	4.6	314	△53.4	587	△38.4	435	△46.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	149.45		—					
2025年3月期	100.78		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	20,489	10,712	52.3	2,479.49
2025年3月期	17,415	10,132	58.2	2,346.53

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,712百万円 2025年3月期 10,132百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現状入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(企業結合等関係)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種経済政策の効果により、景気は緩やかな回復傾向が見られたものの、原材料費・労務費等の高騰による物価上昇や米国の通商政策及び中東情勢緊迫化の影響等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは環境を軸とした事業活動を展開し、サステナブルな社会の実現に貢献することを通じて、社会から必要とされる環境リーディングカンパニーとなることを目指し、2030年度を見据えた長期ビジョン「グランドビジョン2030」を2023年5月に策定し取組を進めてまいりました。長期ビジョン達成に向けた直近3年間を中期経営計画期間としており、中期経営計画においては中長期的な成長が見込まれる業界向けに製品供給や再資源化提案を行い、事業成長・業績拡大を進めることとしております。

当社グループは、半導体・電池及び電子部品等のエレクトロニクス分野の中長期的な成長に期待しており、成長に伴い増加が見込まれる使用済化学薬品の再資源化需要に応えるため、北九州市に2027年度からの稼働開始を目指し、子会社サンワマテリアルソリューションズ株式会社の再資源化工場を建設しております。また、エレクトロニクス分野で利用される貴金属・レアメタル等の国内資源循環ニーズに対応するため、2025年10月に大阪市の金属リサイクル会社であるエー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社を完全子会社化いたしました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高20,263百万円（前年同期比26.3%増）、営業利益1,543百万円（前年同期比84.6%増）、経常利益1,701百万円（前年同期比89.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,071百万円（前年同期比81.2%増）となりました。

当社グループは、環境関連事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載を省略しておりますが、主な事業は5つに区分しており、事業種類別の業績は次のとおりです。

①リユース

当事業は、廃棄物の再資源化に対する社会的ニーズが年々高まる中、サーキュラーエコノミーの形成に貢献していくことを目指し、有機溶剤、リン酸及び希少金属等のマテリアルリサイクル推進とその付加価値向上に注力しております。当連結会計年度においては、再生品の原料となる使用済化学薬品の収集を強化し、再生溶剤の取扱数量は好調を維持しました。また、2025年10月にエー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社を子会社化したことにより、貴金属・レアメタル再資源化の取扱高が大きく増加いたしました。その結果、売上高は7,239百万円（前年同期比82.2%増）となりました。

②リサイクル

当事業は、これまでに東西工場拠点において投資をしてきたリサイクル施設の稼働率を向上させるため、新規顧客開拓による取扱数量の増加に注力しております。当連結会計年度においては、産業廃棄物の収集を強化し、連結子会社であるサンワ南海リサイクル株式会社（和歌山市）での廃酸・廃アルカリ等の廃棄物取扱高は増加いたしました。その結果、売上高は5,905百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

③化学品

当事業は、次世代自動車の台頭やIT技術・情報通信技術の高度化に伴い、半導体・電池及び電子部品等のエレクトロニクス分野のマーケット拡大に期待しており、そのようなエレクトロニクス業界向けの製品供給に注力しております。当連結会計年度においては、一部顧客にて稼働が回復したものの、計画していたほどの需要はなく、ファインケミカル製品の取扱高は伸び悩んでおります。その結果、売上高は3,206百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

④自動車

当事業は、次世代自動車などの新しい可能性が広がる一方、従来からの部品加工分野は需要が縮小していくことが見込まれております。当連結会計年度においては、商品転売の取扱高は増加したものの、油剤や洗浄剤等の製品販売では苦戦することとなりました。その結果、売上高は2,352百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

⑤エンジニアリング

当事業は、PCB含有廃棄物を適切に処理する取組で培ったノウハウを活かし、今後増加が見込まれる化学プラント等の改廃ニーズを取込み、解体工事により発生する清掃・廃棄物処理を一手に担い、ソリューション提供を通じて顧客の信頼を獲得し、事業を拡大していく活動に注力しております。当連結会計年度においては、大型解体案件の着手時期がずれ込んだものの、処理期限の迫っているPCB処理案件の獲得が大きく増加いたしました。その結果、売上高は1,559百万円（前年同期比63.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は26,024百万円と前連結会計年度末に比べ5,387百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が2,791百万円、受取手形及び売掛金が628百万円増加したこと等によります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は12,543百万円と前連結会計年度末に比べ4,420百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が2,721百万円、未払法人税等が379百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は13,480百万円と前連結会計年度末に比べ、967百万円増加いたしました。これは主に利益獲得等により利益剰余金が886百万円、その他有価証券評価差額金が116百万円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は2,159百万円となり、前連結会計年度末と比較して533百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益1,614百万円や減価償却費1,367百万円を源泉とした収入等により、1,944百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入72百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出3,887百万円等により3,759百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金返済による支出2,224百万円があったものの、長期借入れによる収入3,950百万円等により1,461百万円の増加となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内需要が底堅く推移することから、景気の回復基調は維持されることが期待される一方、物価上昇に伴う消費の腰折れ、米国の通商政策や中東情勢緊迫化等の影響により、景気の下振れリスクも懸念されることから、不確実性の高い経営環境が継続すると思われまます。また、環境的な側面においてはESG/SDGsへの関心が広く浸透しつつあり、企業は経済的価値を追求するだけでなく、社会的価値の向上にも配慮したサステナビリティ経営が求められる傾向が強くなってまいります。

このような状況下において、当社グループは環境を軸とした事業活動を展開し、サステナブルな社会の実現に貢献するとともに、社会から必要とされる環境リーディングカンパニーとなることを目指し、長期ビジョン「グランドビジョン2030」の達成に向け、さらなる成長を目指してまいります。

当社グループでは、昨今の中東情勢緊迫化により改めて顕在化した資源調達リスクへの対応やESG/SDGsへの取組強化として、国内での資源循環ニーズはますます高まっていくものと見込んでおり、そのニーズに応えるべく再資源化設備への投資を積極的にすすめてまいります。独自の再資源化技術をさらに醸成し、マテリアルリサイクルを加速させることでサーキュラーエコノミーの形成に貢献するとともに、脱炭素に向けた大きな課題となっている重油・石炭等の化石燃料の代替として廃棄物由来エネルギーを供給すること等により、サステナブル社会の実現に貢献してまいります。また、事業成長に伴いリソースを補完するためのM&Aや業務提携等についても積極的にすすめてまいります。

以上より、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、為替相場及び原油価格が現状並みであること及び中東での紛争長期化リスクを織り込んでいないことを前提条件として、売上高23,500百万円、(前期比16.0%増)、営業利益1,700百万円(前期比10.1%増)、経常利益1,620百万円(前期比4.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,100百万円(前期比2.6%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626,575	2,159,667
受取手形及び売掛金	2,839,306	3,467,591
電子記録債権	469,796	423,098
商品及び製品	313,016	380,984
仕掛品	164,023	418,062
原材料及び貯蔵品	417,700	785,613
その他	186,940	160,427
未収消費税等	61,244	—
貸倒引当金	△1,076	△1,055
流動資産合計	6,077,525	7,794,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,557,295	4,511,511
機械装置及び運搬具（純額）	2,988,142	3,068,023
土地	4,869,085	4,915,661
リース資産（純額）	7,972	29,411
建設仮勘定	426,484	3,217,806
その他（純額）	325,645	336,693
有形固定資産合計	13,174,626	16,079,107
無形固定資産		
ソフトウェア	72,403	63,001
ソフトウェア仮勘定	—	100,650
のれん	—	191,877
技術関連資産	—	155,708
その他	23,843	26,483
無形固定資産合計	96,247	537,719
投資その他の資産		
投資有価証券	660,720	988,625
破産更生債権等	2,991	5,092
退職給付に係る資産	142,964	156,488
繰延税金資産	30,745	98,735
その他	453,749	369,157
貸倒引当金	△2,991	△5,092
投資その他の資産合計	1,288,178	1,613,007
固定資産合計	14,559,053	18,229,835
資産合計	20,636,579	26,024,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,166,049	1,280,335
電子記録債務	222,137	279,610
1年内償還予定の社債	—	94,000
1年内返済予定の長期借入金	1,315,878	1,331,959
リース債務	3,044	9,877
未払法人税等	134,877	514,518
賞与引当金	245,878	324,518
役員賞与引当金	37,900	66,900
営業外電子記録債務	138,543	490,999
その他	909,797	1,179,739
流動負債合計	4,174,105	5,572,459
固定負債		
社債	—	70,000
長期借入金	3,737,359	6,458,716
リース債務	5,725	20,388
役員退職慰労引当金	198,071	237,232
退職給付に係る負債	2,551	3,360
資産除去債務	—	2,015
繰延税金負債	3,395	88,547
その他	2,160	91,098
固定負債合計	3,949,264	6,971,357
負債合計	8,123,369	12,543,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,588,320	1,590,082
資本剰余金	1,542,906	1,544,668
利益剰余金	8,908,959	9,795,249
自己株式	△382	△382
株主資本合計	12,039,803	12,929,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,260	403,019
その他の包括利益累計額合計	286,260	403,019
非支配株主持分	187,146	147,769
純資産合計	12,513,209	13,480,407
負債純資産合計	20,636,579	26,024,224

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	16,040,490	20,263,153
売上原価	11,536,341	14,510,393
売上総利益	4,504,149	5,752,759
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,583,542	1,802,870
貸倒引当金繰入額	4,068	2,080
賞与引当金繰入額	138,627	176,870
役員賞与引当金繰入額	28,400	52,600
退職給付費用	130,105	49,833
のれん償却額	—	21,319
その他	1,783,144	2,103,652
販売費及び一般管理費合計	3,667,889	4,209,227
営業利益	836,260	1,543,532
営業外収益		
受取利息	128	1,638
受取配当金	19,274	22,992
受取賃貸料	22,763	22,764
受取保険金	12,934	120,475
補助金収入	29,033	7,615
物品売却益	16,820	24,335
その他	15,942	32,981
営業外収益合計	116,898	232,801
営業外費用		
支払利息	24,982	69,008
損害補償損失引当金繰入額	14,194	—
その他	4,143	2,412
消費税等差額	12,116	3,263
営業外費用合計	55,437	74,683
経常利益	897,721	1,701,650
特別利益		
固定資産売却益	1,816	29,809
特別利益合計	1,816	29,809
特別損失		
減損損失	—	100,891
固定資産除売却損	1,642	16,505
特別損失合計	1,642	117,396
税金等調整前当期純利益	897,895	1,614,064
法人税、住民税及び事業税	329,333	654,617
法人税等調整額	△30,445	△74,279
過年度法人税等	16,387	1,143
法人税等合計	315,274	581,481
当期純利益	582,620	1,032,582
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△8,851	△39,376
親会社株主に帰属する当期純利益	591,472	1,071,958

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	582,620	1,032,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133,590	116,759
その他の包括利益合計	△133,590	116,759
包括利益	449,030	1,149,341
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	457,881	1,188,718
非支配株主に係る包括利益	△8,851	△39,376

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,588,320	1,542,906	8,490,204	△326	11,621,104
当期変動額					
剰余金の配当			△172,716		△172,716
自己株式の取得				△56	△56
親会社株主に帰属する 当期純利益			591,472		591,472
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	418,755	△56	418,699
当期末残高	1,588,320	1,542,906	8,908,959	△382	12,039,803

	その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	419,850	419,850	38,497	12,079,452
当期変動額				
剰余金の配当				△172,716
自己株式の取得				△56
親会社株主に帰属する 当期純利益				591,472
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△133,590	△133,590	148,648	15,058
当期変動額合計	△133,590	△133,590	148,648	433,757
当期末残高	286,260	286,260	187,146	12,513,209

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,588,320	1,542,906	8,908,959	△382	12,039,803
当期変動額					
剰余金の配当			△185,669		△185,669
自己株式の取得					—
譲渡制限付株式報酬	1,762	1,762			3,525
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,071,958		1,071,958
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,762	1,762	886,289	—	889,815
当期末残高	1,590,082	1,544,668	9,795,249	△382	12,929,618

	その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	286,260	286,260	187,146	12,513,209
当期変動額				
剰余金の配当				△185,669
自己株式の取得				—
譲渡制限付株式報酬				3,525
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,071,958
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	116,759	116,759	△39,376	77,383
当期変動額合計	116,759	116,759	△39,376	967,198
当期末残高	403,019	403,019	147,769	13,480,407

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	897,895	1,614,064
減価償却費	1,189,291	1,367,395
減損損失	—	100,891
のれん償却額	—	21,319
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,068	2,080
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,562	65,640
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△399
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,000	29,000
受取利息及び受取配当金	△19,402	△24,587
支払利息	24,982	69,008
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△174	△13,304
受取保険金	△12,934	△120,475
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,551	808
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	111,400	△13,524
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,066	△422,716
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△2,991	△2,100
棚卸資産の増減額 (△は増加)	61,268	△295,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	△96,767	152,781
その他	43,639	△323,740
小計	2,055,198	2,206,679
利息及び配当金の受取額	19,322	24,500
利息の支払額	△24,147	△70,136
保険金の受取額	12,934	120,475
法人税等の還付額	5,372	△96
法人税等の支払額	△397,301	△336,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,671,379	1,944,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,423,601	△3,887,555
有形固定資産の売却による収入	1,816	72,198
無形固定資産の取得による支出	△7,390	△104,267
投資有価証券の取得による支出	△4,213	△157,937
新規連結子会社株式取得に伴う収入	—	185,445
その他	△61,986	132,980
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,495,375	△3,759,136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,044	△6,204
長期借入れによる収入	1,300,000	3,950,000
長期借入金の返済による支出	△1,574,863	△2,224,213
社債の償還による支出	—	△72,000
配当金の支払額	△172,716	△185,669
自己株式の取得による支出	△56	—
非支配株主からの払込みによる収入	157,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△293,180	1,461,912
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,117,176	△352,353
現金及び現金同等物の期首残高	2,743,751	1,626,575
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	885,445
現金及び現金同等物の期末残高	1,626,575	2,159,667

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

企業の名称 エー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社

事業の内容 貴金属・レアメタルの分離・回収精製

貴金属・レアメタルの販売、各種化成品販売 貴金属回収装置の企画・製造

(2) 企業結合を行った主な理由

収集・製造・販売に強みをもつ当社グループと貴金属・レアメタルのリサイクル実績が豊富であり、研究開発力を強みとするエー・アンド・エイチ・ジャパン株式会社が融合することにより、多くのシナジー効果を生み出し、サーキュラービジネスをさらに加速させ、リサイクルメーカーとしての企業価値向上を図ることといたしました。

(3) 企業結合日

2025年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金及び預金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金及び預金を対価として株式を取得するためであります。

2. 連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年10月1日から2026年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	700,000千円
-------	--------	-----------

取得原価		700,000千円
------	--	-----------

4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーに対する報酬等72,691千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

213,196千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される、超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(セグメント情報等)

当社グループは、環境関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,854.65	3,086.03円
1株当たり当期純利益金額	136.98	248.16円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、当社は潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	591,472	1,071,958
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	591,472	1,071,958
普通株式の期中平均株式数(株)	4,317,897	4,319,597
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,513,209	13,480,407
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	187,146	147,769
(うち非支配株主持分)(千円)	(187,146)	(147,769)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,326,063	13,332,638
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,317,894	4,320,314

(重要な後発事象)

該当事項はありません。